

かこがわ国際交流

4

2022

Kakogawa International Association Public Information



はじめての国際交流 (11月7日)



災害時外国人支援ボランティア
研修会 (12月11日)



書き初め
(1月6日・13日)



ふゆまつり (12月12日)



日本語教育
ボランティア
養成講座初級 I
(12月26日~2月27日)



外国人のための
「まなぶ・そなえる」
防災セミナー
(2月6日)

Contents

- 2・3 P 2021年度後期 国際交流事業紹介
- 4 P 国際交流員着任
- 5 P ひょうご県民ボランティア活動賞受賞特集
- 6 P 2022年度前期 受講生・賛助会員募集

加古川市国際交流協会
Facebookに「いいね！」を
してください！



※事業の最新情報を投稿しています

2021年度後期 国際交流事業紹介

10月 国際協力理解セミナー 10月2日



JICA 海外協力隊の OB 4 名の方に現地での体験を交えながら、派遣された国(シリア、ブラジル、パラグアイ、ガーナ)について発表していただきました。合計 20 名の方が参加され、詳しい現地の様子の説明があり、有意義なセミナーとなりました。また同日に写真展も開催し、セミナーに参加されていない方も現地でのボランティア活動の様子を見ることができました。

10月 日本語教育ボランティア養成講座初級Ⅱ



10月9日～12月4日

日本語指導の経験がある 15 名の方が指導方法等の更なるスキルアップを目指し、受講されました。最終回の講座では、外国人の日本語学習者にご協力いただき、実際に模擬授業も行いました。受講生の方からは講師の説明が的確で分かりやすかったと大変満足度の高い講座となりました。

10月 ふれあい国際料理講座 10月31日



今年度はコロナ対策として家族単位の参加とし、4組の家族(計13名)がエビチリもち米団子の蒸しものを作りました。家族でゆっくり料理をしながら、中国文化にも触れることができ、良かったと大変好評でした。



11月 はじめての国際交流 11月7日



オーストラリア、アメリカ、韓国、中国から来た兵庫県国際交流員が各国の紹介をしてくれました。親子合わせて 49 名の方がクイズやクラフト体験に参加しました。子どもにも分かりやすい内容で、親子で楽しめるイベントとなりました。

11月 やさしい日本語講座(会話編)



11月28日

28 名の方が参加し、外国人に伝わりやすい「やさしい日本語」とは何か、どうすれば外国人にとって伝わりやすくなるかなど基礎的なことを学びました。日本人が普段よく話す言葉を題材にやさしい日本語に変える練習をグループに分かれて行いました。

12月 災害時外国人支援ボランティア研修会



12月11日

24 名の方に参加いただき、兵庫県立人と防災未来センター主任研究員の中国人講師に、前半は災害時の外国人支援について実際の現場での様子を交えながらご講義いただき、後半は東日本大震災時に避難所で実際に起こった事例を基にグループワークを行っていただきました。

12月 ふゆまつり



12月12日

ベトナム、ミャンマー、ブラジル、パキスタン、中国出身の外国人と外国人に日本語を教えてくださいのボランティアの方々、また国際交流に興味のある方々全部で 42 名に参加いただき、交流・交歓事業を行いました。日本の大道芸である南京玉すだれを鑑賞した後、「箱の中身は何だろうゲーム」と「記憶力ゲーム」をし、最後にビンゴゲームをしました。

12月 日本語教育ボランティア養成講座初級Ⅰ



12月26日～2月27日

初めて日本語を教える方や経験の少ない方を対象とした講座で、毎年実施しています。今回は 26 名の方が受講されました。講義を通して受講生間で模擬実習を何度か行った後、最終回では外国人学習者の前で模擬実習を行いました。

2021年度後期 国際交流事業紹介

1月 書き初め

1月6日・13日



毎週木曜日の午後7時から午後8時50分まで実施している日本語講座の学習者が日本文化の体験として書き初めに挑戦！書き初めの後はおたけをして、日本の新年を体験しました。



1月 イングリッシュ・カフェ 1月15日



新型コロナウイルスで中断していたイングリッシュ・カフェを2年ぶりに開催することができました。ニュージーランドから来日し、現在国際交流センターで勤務しているシンディさんがニュージーランドについて発表した後、各グループで出身国や住んでいるところについて英語で話し合いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため今までのようにお菓子や飲み物を飲みながら英会話を楽しむことはできませんでしたが、合計36名の方が参加し、久々の事業に大いに盛り上がりました。

2月 桂林市の子ども書画作品展

2月1日～2月6日



加古川市の友好都市である中国桂林市から寄贈された小学生・中学生などの絵画や書道作品25点をJR加古川駅構内の加古川市民ギャラリーに展示しました。どの作品も、子どもらしい若々しい感性にあふれ、また、日本のアニメのような作品や、中国の伝統的な書画など多彩なもので、いずれもコロナ禍を克服し、世界平和を望む心が表現されていました。

2月 外国人のための「まなぶ・そなえる」防災セミナー 2月6日



外国人と国際交流ボランティアの方12名が加古川市防災センターで、6言語（英語、中国語（簡体字）、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語）に翻訳された加古川市総合防災マップの見方や日本の災害の種類や災害時の身の守り方、地震の体験・消火器の使い方などを学びました。

2月 にほんごカフェ

2月26日



外国人の皆さんと日本人が気軽に日本語を使って会話する事業で、約2年ぶりに対面で開催することができ、今回は日本人と外国人合わせて22名の方が参加しました。グループに分かれて、いろいろおたけをした後、出身国について日本語で話し合ってもらいました。

3月 国際交流ボランティア研修会

3月12日



この研修会は初めて行う研修会で、当協会の様々な分野（プライベートレッスン、日本語講座、語学）で活躍されているボランティア4名の方に体験談をお話いただいた後、小グループに分かれてボランティア中の課題やボランティアに関する疑問などを共有し、話し合ってもらいました。25名の方が参加され、様々な実際の活動が大変参考になったと好評な研修会となりました。

3月 外国人による日本語スピーチ発表会

3月13日



当協会では日本語を勉強している外国人学習者や地域の高校に通う留学生12名が1年の締めくくりとして、自分の国のことや日本で不安だったこと、日本語の学習を通して交流の輪が広がったことなどについて、それぞれの日本語能力を最大限生かしてしっかりと日本語でスピーチをしていただきました。

特集1 国際交流員着任

ニュージーランドから来日した
国際交流員オーヤン・シン(愛称：シンディ)さんが
国際交流センターに11月から着任しました！！

シンディさんについて

私は台湾で生まれ、高校の時に英語を勉強したいと思い、留学生としてニュージーランドのオークランド、オーストラリアのシドニーに行きました。その後、カナダのバンクーバーにあるブリティッシュコロンビア大学(略称：UBC)に進学し、日本語を専攻しました。

大学卒業後は台湾に戻り、東芝台湾新幹線プロジェクトに関わり、婚約を機に再びニュージーランドで暮らすことになりました。

ニュージーランドでは、ハミルトン市にある日本料理レストランでアルバイトをした後、日本の食品・酒類関連消費財の輸入及び卸売業及び小売り販売の会社に入社し、正社員として2年間働いた後、航空会社に勤め、グランドスタッフや客室乗務員、コールセンター、国際運送などの部署で経験を積んだ後、JETプログラムのCIR(国際交流員)に合格し、新型コロナウイルスの影響で予定より1年遅くなりましたが、2021年11月に2歳の娘を連れて来日しました。



オーヤン・シン
(愛称：シンディ)さん



イングリッシュカフェの様子

国際交流員について

国際交流員の業務は、市の国際交流関係事務・国際経済交流関係事務の補助や地域住民の異文化理解のための交流活動、通訳・翻訳を通じて外国人住民の生活支援活動への協力など様々です。

1月15日に開催されたイングリッシュカフェでは、地域住民の方にニュージーランドについて英語で紹介をしました。また他にも市役所から依頼を受け、文書の翻訳等も行っております。

国際交流員に応募した理由は？

理由は3つあります。1つ目は日本文化が大好きで、一度日本に住んでみたいという夢があったからです。日本で生活や仕事をしながら、これから日本文化もっと学び、体験しようと思っています。

2つ目はニュージーランドの良さを日本の方に伝えたいと思ったからです。ニュージーランドは私が生まれた国ではありませんが、学生時代から10年以上住んでおり、私が感じたニュージーランドの良さや美しさをこれから伝えていきたいと思っています。

3つ目は人と交流したり、コミュニケーションをとることが好きだからです。ニュージーランドは多文化共生が進んでいるので、色んな文化を尊重し、受け入れています。ニュージーランドで国籍が違う人たちと一緒に働いた経験や通訳の経験を加古川市での国際交流員の活動に活かしていきたいです。

最後に加古川市の印象は？

加古川市はまちの中心に川が流れており、都会過ぎず、田舎過ぎず、全体的に落ち着いた雰囲気があり、私が住んでいたニュージーランドのハミルトン市に似ていると思いました。またJRの新快速で神戸まで30分、大阪まで1時間で行くことができ、歴史の名所である姫路には15分で行くことができ、大変アクセスがいいところに位置しているなど感じました。牛肉・ステーキが好きなので、地元のこだわりの和牛を手ごろな価格で買えるのも大変魅力的です。

ひょうご県民 ボランティア活動受賞

日本語指導ボランティアの稲岡安則さんが
ひょうご県民ボランティア活動賞を受賞されました

稲岡安則さんに日本語指導ボランティアについて質問をしました

プライベートレッスンをしていた中で、
やりがいや印象に残っているエピソードなどが
あれば教えてください。

時間をかけて日本語のテキストを最初から最後まで勉強し終えた時や学習者が自身の日本語が上達したなど喜んで見ると、学習者と共に努力してきたことが結果に繋がったと実感できやりがいを感じます。またプライベートレッスンから派生した日本語学習グループを作り、共に勉強する場を作って交流したこと、またそのグループが結成され 10 年経った際に開催した各国の料理を持ち寄って交流した祝賀パーティーは大変印象に残っています。



これからボランティアを志す方へ
一言お願いいたします。

期間としては 26 年にも及びますが、日本語指導というボランティア活動しかしていないので、偉そうなことは言えませんし、まだまだ試行錯誤しながらやっている状態ですが、そのような中でボランティアをする上で大切だと感じていることは、次の 3 点です。

○学習者の希望に沿ってサポートしていくこと

学習を始める前に十分な話し合いが必要です。本人の希望や目標は何か、家で学習できる時間はどれくらい取れるのかなど色々な学習者の学習環境を理解し、学習者と共に前もって学習内容や方法、約束事を確認しています。これがしっかりできていれば、途中で学習意欲が下がったり、マンネリ状態に陥ったりすることも少なくなると思います。



○区切りをつけて双方で評価しながら進めること

このような双方での確認作業を、私の場合は半年間で一回区切りをつけて行い、継続するかやめるかも含めて学習者と相談することにしています。これを行う目的は両者で半年間の成果、進捗状況を確認し次の段階に向けての学習意欲を高めるためです。同時に、実際に勉強を始めて 2～3 か月やってみると、何となく相性というのでしょうか、お互いのリズムが感じられます。ほとんどの場合大きな問題はありますが、たまには勉強を休みがちになる人、来なくなる人も出てきます。原因は一概に何だとは言えないのですが、もし学習者が途中で「もう休みたいな」と思うようなことがあれば、少しでも言い出しやすいように半年に 1 回話し合いの場を持っています。

○気負わず無理せず継続すること

少し前、冬季オリンピックが開催され熱戦が繰り広げられていましたが、選手たちにはコーチがついています。日本語指導においても先生はそのコーチのような役割を果たしているのかと思います。地道に時間をかけて共に努力し、選手が自分の能力を十分に発揮しメダルがとれるようになるのと同じように、学習者を励ましサポートすることが先生の役割だと思っています。活動を続けていく中では色々なことが出てきます。嬉しいこと、楽しいこと、また困ることや驚くことなど。それらに一喜一憂することなく、学習者に寄り添い苦楽をともにしていく姿勢、心の余裕が大切だと思います。まずはボランティアの力を必要としている人の希望を受け止め、それをできるだけ尊重しながらサポートすることが大切だと思います。

2022年度 受講生・賛助会員募集

国際交流ボランティア募集

加古川市国際交流協会では、外国人への日本語指導や通訳・翻訳、ホームステイなどの国際交流活動にご協力いただくボランティアを募集しています。

- **日本語指導ボランティア（サービスボランティア）**
週に1度、教室形式の日本語講座や1対1形式のプライベートレッスンで日本語指導を行います。経験や資格は不要です。見学を希望される方はお問合せください。
- **語学ボランティア**
学校からの連絡文書の翻訳や市役所窓口での通訳など、語学力を生かして外国人を支援します。外国語で日常会話の通訳、または日常生活で使う文章の翻訳が支障なくできることが登録要件です。
- **ホームステイボランティア**
姉妹都市などからの青年海外派遣団などが市を訪れた時に、ホストファミリーとして派遣生などをご家庭で受け入れていただきます。

文化庁の「つながるひろがるにほんごでのくらし」について

文化庁が「生活者としての外国人」のための日本語学習サイト「つながるひろがるにほんごでのくらし」をウェブサイト上で公開しています。動画の視聴を中心に生活に必要な日本語を学習することができますので、是非ご活用ください。

<https://tsunagarujp.bunka.go.jp/>

外国人のための日本語講座

2022年の受講生を募集します！

外国人のための日本語講座では、外国人が日本で安心して生活するために必要な日本語を勉強します。

- 2022年4月7日～全44回(予定)
- 毎週木曜日
- 午後7時～8時50分
- **場所：**国際交流センター
(年度途中から JR 加古川駅南カピル 21 ビル 5 階の加古川市民交流ひろばで開講します)
- **コース**
A クラス：初めて日本語を勉強する人
B クラス：ひらがな・カタカナの読み書きができ、簡単な会話ができる人
C クラス：基本的な文法がわかり、簡単な会話ができる人
- **受講料：**10,000 円(賛助会費を含む)
別途教科書代が必要

- **申込み：**
国際交流協会へ申し込んでください。途中からでも申込みできます。レベルが合わないときは参加できないこともあります。



※英語・中国語・ベトナム語・ポルトガル語の要項、申込み用紙があります。

賛助会員：法人会員ご紹介（順不同） いつもご支援ありがとうございます

公益社団法人加古川納税協会、社会福祉法人加古川市社会福祉協議会、株式会社東播自動車教習所、株式会社YK商会、ネクスト・ワン株式会社、株式会社トモダ、釜谷紙業株式会社、ニシカワ食品株式会社、オークラ工業株式会社、一般社団法人加古川医師会、前川建設株式会社、王将 平野店、兵庫南農業協同組合、但陽信用金庫、印南養鶏農業協同組合、オークラ輸送機株式会社、株式会社高田造園土木、加古川市南農業協同組合、ヤング開発株式会社、株式会社東洋機械製作所、ティエルブイインターナショナル株式会社、木下運輸株式会社、株式会社ティエルブイ、オークラサービス株式会社、木下運送株式会社、株式会社神戸製鋼所加古川製鉄所、関西熱化学株式会社、神鋼物流株式会社、株式会社加古川製作所、松本病院、外林針灸接骨院、有限会社松原屋洋品店、BAN-BAN ネットワークス株式会社、兵庫大学

2022年3月15日現在

賛助会員募集

協会では毎年、国際交流活動や外国人の受け入れ事業の実施など、協会の活動をご支援くださる賛助会員を募集しています。会費は事業費の一部として活用させていただきます。

●年会費

個人 1口 2,000 円
団体 1口 5,000 円
法人 1口 10,000 円

●申込書

協会事務所にあります。詳しくは協会まで。

※会員には、各種事業の紹介、指定旅行社の優待割引、事業参加費の割引などの特典があります。

公益財団法人 加古川市国際交流協会

〒675-0017 加古川市野口町良野 387-1
TEL: 079-425-1166 FAX: 079-425-0200
ホームページアドレス: <http://kakogawa-kia.or.jp>
E-mail: info@kakogawa-kia.or.jp

協会公式 SNS をチェック！



国際交流センター 国際交流協会事務所への 移転について

2000年6月11日から設置・運営されてきた加古川市国際交流センターは、加古川市民交流ひろばとして JR 加古川駅南側カピル21ビル 5階に移転いたします。国際交流協会事務所を合わせて移転いたします。(2022年6月予定)